

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あすてっぷ八尾南(児童発達支援サービス)				公表日	2025年 5月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1日の活動枠を3枠の時間割り制にすることにより一度に入室する人数に制限をかけています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	法定基準よりも厚めに配置し、支援の目が行き届くように配慮している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚補助のための掲示物や集中出来る環境設定をおこなっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々使用した備品については除菌シートを用いて清掃をおこなっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンできるように、半個室の場所を準備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員が個々の利用者の状況について確認をおこなっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	いただいたご意見をもとに職員会議を行い業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員に発言の場を設け、広く意見を出せる環境をつくっており、日々の業務改善に生かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法定研修だけでなく、定期的の実務に必要な研修をおこなっている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPにて公開しており、事業所内でも掲示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	契約時及び個別支援計画更新の面談時に、アセスメントを行い、保護者・利用者のニーズの聞き取りを行っている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員に発言の場を設け、様々な角度からの意見を出し合い、利用者にとって最善の療育になるようつとめている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎月の支援会議で個々の目標については毎回確認を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	LITALICO発達ナビのアセスメントシートを用いて共通項目にて観察している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個々の個別支援計画書に記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	プログラムの立案には、職員からの提案書をいつでも作成できる環境にしており、広く意見を出し合っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	日々の療育活動の中で、個別活動と全体活動を組み合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回療育時間内には、活動記録をのこす「書記担当」職員を配置し客観的に活動を記録するようにしており、それを元に支援の向上を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低半年に一度の個別支援計画の面談のためだけでなく、定期的にモニタリングをおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0%	100%	児発管と担当職員の組み合わせでいくことで、複数の視点からの状況確認ができるようにしている。	期間中に該当する会議はなかった。今後開催されれば対応を行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の子育て支援センターや園などと連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%		並行利用している児童が少数のためケースとしては少ないが、可能な限りの情報共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	100%		期間中に対象の児童がいなかった。今後該当者がいた場合は対応を行いたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0%	0%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	0%	0%		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0%	0%		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%		今期は連携の機会がなかったが、今後機会があれば助言はうけてみたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	事業所として地域のイベントに参加し、地域の中で一緒に活動する機会を提供している。	時間割り制での療育のため一緒に活動は難しい。地域のイベントには参加しているので学年が上がれば一緒に活動できるチャンスもできると思われる。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	療育終了後毎回フィードバックの時間を設け、その日の活動報告だけでなく学校や家庭での困りごとなどを共有いただき課題解決に向けて相談を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	家族参加できる研修について随時案内を行っている。現地参加ではなく、自宅からでも参加できるようなオンライン型の研修情報も提供している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明をさせていただいています。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	契約時及び個別支援計画更新の面談時に、アセスメントを行っており、目的の共有を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明させていただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	契約時及び個別支援計画更新の面談時に、アセスメントを行っており、目的の共有を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		保護者会は開催したが、参加者が少なかつたため、今後参加しやすい日時を保護者アンケートを通じて確認していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者からの情報については、職員間で共有し、苦情につながらないように体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPのブログコーナーにて日々の活動報告をおこなっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	全職員が十分に気をつけることができるように定期的に話し合っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	利用者含め理解しやすいツールをつかって意思疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域イベントに参加し、SNS等や園等に広告を掲示してもらうことにより広く広報している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	33%	67%		該当する児童がいなかったため、今後該当する児童が利用開始すれば対応するを行う。そのため今後対応するとして「はい」現時点では対応していない「いいえ」で意見が分かれた。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33%	67%		該当する児童がいなかったため、今後該当する児童が利用開始すれば対応するを行う。そのため今後対応するとして「はい」現時点では対応していない「いいえ」で意見が分かれた。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画についてはHPにて公開し広く周知をはかっている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットについては、小さな案件でも職員全員で情報を共有し再発防止や類似の案件が発生しないように対応している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。現在該当者なし。		

事業所名 あすてっぴ八尾南(放課後等デイサービス)

公表日 2025年 5月 7日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1日の活動枠を3枠の時間割りにすることにより一度に入室する人数に制限をかけています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	法定基準よりも厚めに配置し、支援の目が行き届くように配慮している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚補助のための掲示物や集中出来る環境設定をおこなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々使用した備品については除菌シートを用いて清掃をおこなっている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンできるように、半個室の場所を準備している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員が個々の利用者の状況について確認をおこなっている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	いただいたご意見をもとに職員会議を行い業務改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員に発言の場を設け、広く意見を出せる環境をつくっており、日々の業務改善に生かしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		現在受けてないが機会があれば受けてみたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法定研修だけでなく、定期的に実務に必要な研修をおこなっている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPにて公開しており、事業所内でも掲示している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	契約時及び個別支援計画更新の面談時に、アセスメントを行い、保護者・利用者のニーズの聞き取りを行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎月の支援会議で全職員に発言の場を設け、様々な角度からの意見を出し合い、利用者にとって最善の療育になるようつとめている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎月の支援会議で個々の目標については毎回確認を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	LITALICO発達ナビのアセスメントシートを用いて共通項目にて観察している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個々の個別支援計画書に記載している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	プログラムの立案には、職員からの提案書をいつでも作成できる環境にしており、広く意見を出し合っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	日々の療育活動の中で、個別活動と全体活動を組み合わせ支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々のミーティングで細かく打ち合わせをおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回療育時間内には、活動記録をのこす「書記担当」職員を配置し客観的に活動を記録するようにしており、それを元に支援の向上を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低半年に一度の個別支援計画の面談のためだけでなく、定期的にモニタリングをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	日々のミーティングでバランス良く活動できるように話し合っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自己表出する機会の提供と自己表出が苦手な利用者に対しては選択肢を提供し、段階的に自己選択できるような支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管と担当職員の組み合わせでいくことで、複数の視点からの状況確認ができるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の子育て支援センターや学校などと連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校行事などの情報共有をはかり、日常とちがう活動による子供への疲労度などを配慮し、療育活動を変更している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	地域の保育所や幼稚園との連携をすすめ、該当者があれば情報共有がしやすい環境整備を進めている。	該当する児童がいなかったため、今後該当する児童が利用開始すれば対応を行う。そのため今後対応するとして「はい」現時点では対応していない「いいえ」で意見が分かれた。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%		現在受け入れ年齢が中学生までとなっているため該当児童なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%		今期は連携の機会がなかったが、今後機会があれば助言はうけてみたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	事業所として地域のイベントに参加し、地域の中で一緒に活動する機会を提供している。	普段の療育では時間割り制のため、その時間内での交流は難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%		参加はしているが、どの会が自立支援協議会であるかを把握できていない職員もいるため全員が理解できるよう説明を行う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	療育終了後毎回フィードバックの時間を設け、その日の活動報告だけでなく学校や家庭での困りごとなどを共有いただき課題解決に向けて相談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	家族参加できる研修について随時案内を行っている。現地参加ではなく、自宅からでも参加できるようなオンライン型の研修情報も提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		契約時に説明をさせていただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		契約時及び個別支援計画更新の面談時に、アセスメントを行っており、目的の共有を行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		説明させていただいています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	療育終了後毎回フィードバックの時間を設け、その日の活動報告だけでなく学校や家庭での困りごとなどを共有いただき課題解決に向けて相談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%		参加率は低かったが保護者会は開催した。兄弟児支援については現在行っていない。利用者の年齢層が低いため、対象となる兄弟児がいたとしても会合は難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者からの情報については、職員間で共有し、苦情につながらないように体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPのブログコーナーにて日々の活動報告をおこなっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	全職員が十分に気をつけることができるように定期的に話し合っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	利用者含め理解しやすいツールをつかって意思疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域イベントに参加し、SNS等や学校等に広告を掲示してもらうことにより広く広報している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%		契約時に注意すべき点については確認している。現利用者の中には該当者なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		契約時に注意すべき点については確認している。現利用者の中には該当者なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画についてはHPにて公開し広く周知をはかっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットについては、小さな案件でも職員全員で情報を共有し再発防止や類似の案件が発生しないように対応している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	職員には定期的に研修・訓練をおこなっており、またマニュアルについていつでも確認できるように配置している。現在該当者なし。		